【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成30年3月22日(2018.3.22)

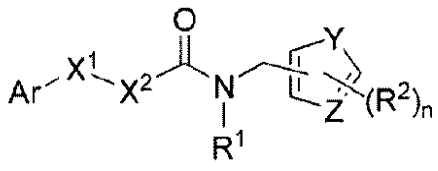
【公開番号】特開2017-165774(P2017-165774A)
【公開日】平成29年9月21日(2017.9.21)
【年通号数】公開・登録公報2017-036
【出願番号】特願2017-117577(P2017-117577)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 277/28 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 409/12 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 333/20 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 413/12 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 409/14 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 417/12 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 405/12 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 471/04 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 307/52 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 333/24 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 333/32 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 13/08 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 13/10 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/04 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 29/00 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/4155 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/381 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/422 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/4436 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/426 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/497 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/427 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/443 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/506 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/437 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/341 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/36 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/4178 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/517 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/4025 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 8/49 (2006.01)
Ａ６１Ｑ 13/00 (2006.01)
Ａ６１Ｑ 11/00 (2006.01)
Ａ６１Ｑ 19/00 (2006.01)
Ａ６１Ｑ 5/00 (2006.01)
Ａ６１Ｑ 17/02 (2006.01)
Ａ２３Ｌ 33/10 (2016.01)
Ｄ０６Ｍ 13/352 (2006.01)
Ｄ０６Ｍ 13/355 (2006.01)

【ＦＩ】

Ｃ０７Ｄ	277/28	ＣＳＰ
Ｃ０７Ｄ	409/12	
Ｃ０７Ｄ	333/20	
Ｃ０７Ｄ	413/12	
Ｃ０７Ｄ	409/14	
Ｃ０７Ｄ	417/12	
Ｃ０７Ｄ	405/12	
Ｃ０７Ｄ	471/04	１０８Ａ
Ｃ０７Ｄ	307/52	
Ｃ０７Ｄ	333/24	
Ｃ０７Ｄ	333/32	
Ａ６１Ｐ	43/00	１１１
Ａ６１Ｐ	35/00	
Ａ６１Ｐ	13/08	
Ａ６１Ｐ	13/10	
Ａ６１Ｐ	25/04	
Ａ６１Ｐ	29/00	
Ａ６１Ｋ	31/4155	
Ａ６１Ｋ	31/381	
Ａ６１Ｋ	31/422	
Ａ６１Ｋ	31/4436	
Ａ６１Ｋ	31/426	
Ａ６１Ｋ	31/497	
Ａ６１Ｋ	31/427	
Ａ６１Ｋ	31/443	
Ａ６１Ｋ	31/506	
Ａ６１Ｋ	31/437	
Ａ６１Ｋ	31/341	
Ａ６１Ｋ	31/36	
Ａ６１Ｋ	31/4178	
Ａ６１Ｋ	31/517	
Ａ６１Ｋ	31/4025	
Ａ６１Ｋ	8/49	
Ａ６１Ｑ	13/00	１０１
Ａ６１Ｑ	11/00	
Ａ６１Ｑ	19/00	
Ａ６１Ｑ	5/00	
Ａ６１Ｑ	17/02	
Ａ２３Ｌ	33/10	
Ｄ０６Ｍ	13/352	
Ｄ０６Ｍ	13/355	

【誤訳訂正書】
【提出日】平成30年2月9日(2018.2.9)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】

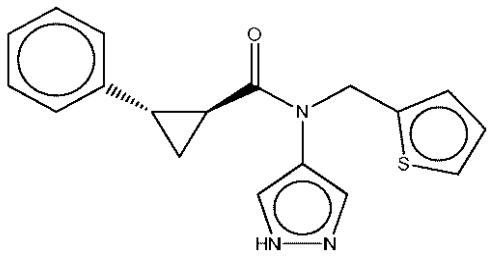
【特許請求の範囲】
【請求項１】
構造式（ＩＩ）：
【化１】



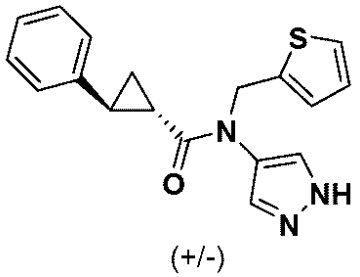
(II)

の化合物および少なくとも１つの担体を含む摂取可能な組成物であって、式中、
Ａｒは、場合により置換されたアリール、又は場合により置換されたヘテロアリールであり；
Ｙは、酸素又は硫黄であり；
Ｚは、窒素又はＣＲであり；
Ｒは、水素又は低級アルキルであり；
$Ｘ^{1}－Ｘ^{2}$は、シクロプロピル、シクロブチル、又はシクロペンチルであり；
$Ｒ^{1}$は、場合により置換された、ピロリル、フラニル、ピラゾリル、トリアゾリル、オキサゾリルおよびチアゾリルからなる群から選択される基であり；
ｎは０、１、２又は３であり；そして、
各$Ｒ^{2}$は独立して、アルキル、又はハロであり、そして
ここで、前記場合による置換基が、アルキル、アルコキシ、ヒドロキシル、ハロ、ニトロ、およびシアノよりなる群から選択される基の１つ以上である、
摂取可能な組成物。
【請求項２】
Ａｒが、フェニルである、請求項１に記載の摂取可能な組成物。
【請求項３】
Ａｒが、場合により置換されたヘテロアリールであり、ここで、前記ヘテロアリールが、窒素、酸素及びイオウから選択されるヘテロ原子１つ以上を含有する５員又は６員のヘテロアリールである、請求項１に記載の摂取可能な組成物。
【請求項４】
Ａｒが、場合により置換された、ピロリル、フラニル、チエニル、ピラゾリル、トリアゾリル、オキサゾリル、チアゾリル、イソオキサゾリル、イソチアゾリル、ピリジル、ピリミジル、およびトリアジニルからなる群から選択される基である、請求項３に記載の摂取可能な組成物。
【請求項５】
$Ｒ^{1}$が、場合により置換された、ピロリル、ピラゾリル、トリアゾリル、オキサゾリルおよびチアゾリルからなる群から選択される基である、請求項１に記載の摂取可能な組成物。
【請求項６】
$Ｘ^{1}－Ｘ^{2}$が、シクロプロピル又はシクロペンチルである、請求項１に記載の摂取可能な組成物。
【請求項７】
$Ｘ^{1}－Ｘ^{2}$が、シクロプロピルである、請求項１～６のいずれか１項に記載の摂取可能な組成物。
【請求項８】
前記摂取可能な組成物が、食品又は飲料品である、請求項７に記載の摂取可能な組成物。
【請求項９】
前記摂取可能な組成物が、飲料品である、請求項７に記載の摂取可能な組成物。

【請求項１０】
前記摂取可能な組成物が、食品である、請求項７に記載の摂取可能な組成物。
【請求項１１】
布地製品又は梱包材料である、請求項１に記載の摂取可能な組成物。
【請求項１２】
前記摂取可能な組成物が、固体、半固体、プラスター、溶液、懸濁液、ローション、クリーム、フォーム、ジェル、ペースト、乳液、又はこれらの組み合わせの形態である、請求項１に記載の摂取可能な組成物。
【請求項１３】
前記摂取可能な組成物中の前記化合物が、０．０００１ｐｐｍ～１００，０００ｐｐｍの範囲の濃度である、請求項１に記載の摂取可能な組成物。
【請求項１４】
前記摂取可能な組成物中の前記化合物が、１ｐｐｍ～５００ｐｐｍの範囲の濃度である、請求項１に記載の摂取可能な組成物。
【請求項１５】
前記構造式（ＩＩ）の化合物が、以下：
【化２】

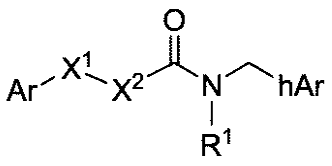


および
【化３】



からなる群から選択されるか、又はその塩もしくは溶媒和物である、
請求項１に記載の摂取可能な組成物。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６５】
本摂取可能な組成物は典型的には、本発明の化合物１つ以上及び少なくとも１つの摂取上許容される担体を含む。摂取可能な組成物は「食品又は飲料品」及び「非食用製品」の両方を包含する。「食品又は飲料品」とは、固体、半固体、液体（例えば飲料）を含むヒト又は動物による消費を意図した食用製品の何れかを意味する。「非食用製品」又は「食べられない組成物」という用語は栄養補助食品組成物、食餌補助食品、栄養組成物、及び機能食品(例えば、栄養を供給する基本的な栄養機能を超えた健康増進及び／又は疾患防

止特性を有することが訴えられている何れかの生鮮又は加工食品）を含む。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００９５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００９５】
個人向け製品は布地製品として提供できる。布地製品の例はシャツ、ズボン、ソックス、タオル等を含むがこれらに限定されない。本化合物は当該分野で知られている何れかの適当な方法において布地製品に適用できる。例えば、本化合物は、スピンコーティング、インプリンティングによりマイクロカプセル化の形態において、布地材料への直接の取り込み(例えば押出）により、モジュレーターの適当な誘導体の共有結合カップリングにより（適当なスペーサー／リンカー基を介し、分子が梱包材料に可逆的又は非可逆的に結合するものを助剤として）、布地と会合させることができる。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００９６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００９６】
個人向け製品は梱包材料として提供できる。梱包材料の例は繊維、布及び成型を含む種々の加工処理形態にあってよい紙及びプラスチックの包装を含む。本化合物は当該分野で知られている何れかの適当な方法で梱包材料に適用できる。例えば、本化合物は、スピンコーティング、インプリンティングによりマイクロカプセル化の形態において、梱包材料への直接の取り込み(例えば押出）により、モジュレーターの適当な誘導体の共有結合カップリングにより（適当なスペーサー／リンカー基を介し、分子が梱包材料に可逆的又は非可逆的に結合するものを助剤として）、梱包材料と会合させることができる。
【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０６５２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０６５２】
本発明の好ましい実施形態によれば、例えば、以下が提供される。
（項目１）
下記構造式（Ｉ）の化合物又はその塩又は溶媒和物であって：
【化３００】

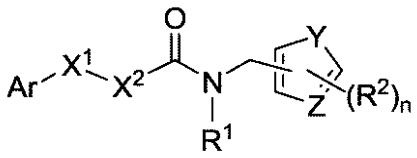


（Ｉ）

式中、
Ａｒは場合により置換されたアリール、場合により置換された炭素環基、又は場合により置換されたヘテロアリールであり；
X^1-X^2は$O-CR^{2a}R^{2b}$、CHR^3-CHR^4、$CR^5=CR^6$、又はシクロアルキルであるか；又は代替として$Ar-X^1-X^2-$は２環式のヘテロアリールであり；

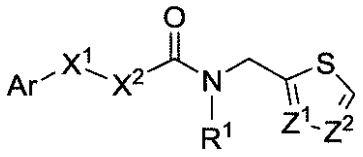
R^{2a}、R^{2b}、R^{3}、R^{4}、R^{5}及びR^{6}は独立して水素又は低級アルキルであり；
ｈＡｒは窒素、酸素及びイオウから選択されるヘテロ原子１つ以上を含有する場合により置換された５員のヘテロアリールであり；そして、
R^{1}は場合により置換されたアルキル、場合により置換されたヘテロアルキル、場合により置換されたアルケニル、場合により置換されたアリール、場合により置換されたアラルキル、場合により置換されたヘテロアリール、場合により置換されたヘテロアラルキル、場合により置換された炭素環基、又は場合により置換されたヘテロシクリルである、
化合物又はその塩又は溶媒和物。
（項目２）
場合により置換されたアリールが場合により置換されたフェニルである、項目１記載の化合物。
（項目３）
Ａｒが場合により置換されたヘテロアリールであり、ヘテロアリールが窒素、酸素及びイオウから選択されるヘテロ原子１つ以上を含有する５又は６員のヘテロアリールである、項目１記載の化合物。
（項目４）
場合により置換されたヘテロアリールがピロリル、フラニル、チエニル、ピラゾリル、トリアゾリル、オキサゾリル、チアゾリル、イソキサゾリル、イソチアゾリル、ピリジル、ピリミジル及びトリアジニルよりなる群から選択される場合により置換された基である、項目３記載の化合物。
（項目５）
任意の置換基がアルキル、ヘテロアルキル，アルケニル、アルコキシ、ヒドロキシル、アミノ、Ｎ－アルキルアミノ、Ｎ－ジアルキルアミノ、ハロ、ニトロ、シアノ、アシル、カルボキシル、カルボキシルエステル又はアミドよりなる群から選択される基１つ以上であるか；又は、２つの置換基がそれらが結合している原子と一緒になって窒素、酸素及びイオウから選択されるヘテロ原子１つ以上を含有する場合により置換された炭素環基又は炭素環基を形成する、項目１記載の化合物。
（項目６）
R^{2b}、R^{3}、R^{4}、R^{5}及びR^{6}が水素である、項目１～５の何れか１項に記載の化合物。
（項目７）
ｈＡｒがピロリル、フラニル、チエニル、ピラゾリル、トリアゾリル、オキサゾリル、チアゾリル、イソキサゾリル又はイソチアゾリルであり、その各々が場合により置換されている、項目１～６の何れか１項に記載の化合物。
（項目８）
R^{1}は場合により置換されたアルキルであり、ここでそのアルキルは直鎖、分枝鎖、環状又はそれらの組み合わせである、項目１～７の何れか１項に記載の化合物。
（項目９）
R^{1}が場合により置換されたアリール又は場合により置換されたヘテロアリールである、項目１～７の何れか１項に記載の化合物。
（項目１０）
R^{1}がピロリル、フラニル、チエニル、ピラゾリル、トリアゾリル、オキサゾリル、チアゾリル、ピリジル、ピリミジル及びトリアジニルよりなる群から選択される場合により置換された基である、項目９記載の化合物。
（項目１１）
$X^{1}-X^{2}$が$O-CH_2$、$O-CH(CH_3)$又は$O-CH(CH_2CH_3)$である、項目１～１０の何れか１項に記載の化合物。
（項目１２）
$X^{1}-X^{2}$がCH_2-CH_2又はCH＝CHである、項目１～１０の何れか１項に記載の化合物。

（項目１３）
Ｘ^{1}－Ｘ^{2}がシクロプロピル、シクロブチル又はシクロペンチルである、項目１～１０の何れか１項に記載の化合物。
（項目１４）
下記構造式（ＩＩ）を有する項目１記載の化合物であって：
【化３０１】



（ＩＩ）

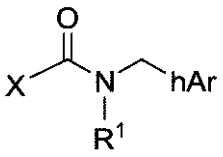
式中、
Ａｒは場合により置換されたアリール、場合により置換された炭素環基、又は場合により置換されたヘテロアリールであり；
Ｙは酸素又はイオウであり；
Ｚは窒素又はＣＲであり；
Ｒは水素又は低級アルキルであり；
Ｘ^{1}－Ｘ^{2}はＯ－ＣＲ^{2a}Ｒ^{2b}、ＣＨＲ^{3}－ＣＨＲ^{4}、ＣＲ^{5}＝ＣＲ^{6}、又はシクロアルキルであり；
Ｒ^{2a}、Ｒ^{2b}、Ｒ^{3}、Ｒ^{4}、Ｒ^{5}及びＲ^{6}は独立して水素又は低級アルキルであり；
Ｒ^{1}は場合により置換されたアルキル、場合により置換されたヘテロアルキル、場合により置換されたアルケニル、場合により置換されたアリール、場合により置換されたアラルキル、場合により置換されたヘテロアリール、場合により置換されたヘテロアラルキル、場合により置換された炭素環基、又は場合により置換されたヘテロシクリルであり；
ｎは０、１、２又は３であり；そして、
各Ｒ^{2}は独立して場合により置換されたアルキル、場合により置換されたヘテロアルキル、場合により置換されたアルケニル、アルコキシ、ヒドロキシル、アミノ、Ｎ－アルキルアミノ、Ｎ－ジアルキルアミノ、ハロ、ニトロ、シアノ、アシル、カルボキシル、カルボキシルエステル又はアミドである、
化合物。
（項目１５）
下記構造式（ＩＩＩ）を有する項目１４記載の化合物であって：
【化３０２】



（ＩＩＩ）

式中、
Ａｒは場合により置換されたアリール、場合により置換された炭素環基、又は場合により置換されたヘテロアリールであり；
Ｘ^{1}－Ｘ^{2}はＯ－ＣＲ^{2a}Ｒ^{2b}、ＣＨＲ^{3}－ＣＨＲ^{4}、ＣＲ^{5}＝ＣＲ^{6}、又はシクロアルキルであり；
Ｒ^{2a}、Ｒ^{2b}、Ｒ^{3}、Ｒ^{4}、Ｒ^{5}及びＲ^{6}は独立して水素又は低級アルキルであり；
Ｚ^{1}及びＺ^{2}は独立して窒素又はＣＨであるが、ただし、Ｚ^{1}及びＺ^{2}がともに窒素であることはなく；そして、

R^1は場合により置換されたアルキル、場合により置換されたヘテロアルキル、場合により置換されたアルケニル、場合により置換されたアリール、場合により置換されたアラルキル、場合により置換されたヘテロアリール、場合により置換されたヘテロアラルキル、場合により置換された炭素環基、又は場合により置換されたヘテロシクリルである、
化合物。
（項目１６）
Ａｒは場合により置換されたアリールであり；そして、
X^1-X^2は$O-CR^{2a}R^{2b}$、CH_2-CH_2又はＣＨ＝ＣＨであり；
Ｒは水素又は低級アルキルであり；
R^{2a}及びR^{2b}は独立して水素又は低級アルキルであり；
R^1は場合により置換されたアルキル、場合により置換されたヘテロアルキル、場合により置換されたアルケニル、場合により置換されたアリール、場合により置換されたアラルキル、場合により置換されたヘテロアリール、場合により置換されたヘテロアラルキル、場合により置換された炭素環基、又は場合により置換されたヘテロシクリルである、項目１５記載の化合物。
（項目１７）
Ａｒが場合により置換されたフェニルである、項目１６記載の化合物。
（項目１８）
Ａｒは場合により置換されたヘテロアリールであり；そして、
X^1-X^2は$O-CR^{2a}R^{2b}$、CH_2-CH_2又はＣＨ＝ＣＨであり；
Ｒは水素又は低級アルキルであり；
R^{2a}及びR^{2b}は独立して水素又は低級アルキルであり；
R^1は場合により置換されたアルキル、場合により置換されたヘテロアルキル、場合により置換されたアルケニル、場合により置換されたアリール、場合により置換されたアラルキル、場合により置換されたヘテロアリール、場合により置換されたヘテロアラルキル、場合により置換された炭素環基、又は場合により置換されたヘテロシクリルである、項目１５記載の化合物。
（項目１９）
R^1が場合により置換されたアルキル、場合により置換されたアリール、又は場合により置換されたヘテロアリールである、項目１５～１８の何れか１項に記載の化合物。
（項目２０）
R^{2a}及びR^{2b}が水素である、項目１５～１８の何れか１項に記載の化合物。
（項目２１）
下記構造式（ＩＶ）を有する項目１記載の化合物であって：
【化３０３】



（ＩＶ）

式中、
Ｘは２環式のヘテロアリールであり；
ｈＡｒは窒素、酸素及びイオウから選択されるヘテロ原子１つ以上を含有する場合により置換された５員のヘテロアリールであり；
R^1は場合により置換されたアルキル、場合により置換されたヘテロアルキル、場合により置換されたアルケニル、場合により置換されたアリール、場合により置換されたアラルキル、場合により置換されたヘテロアリール、場合により置換されたヘテロアラルキル、場合により置換された炭素環基、又は場合により置換されたヘテロシクリルである、

化合物。
（項目２２）
ｈＡｒがチエニル又はフラニルである、項目２１記載の化合物。
（項目２３）
Ｘが場合により置換されたベンゾフラニルである、項目２１又は２２に記載の化合物。
（項目２４）
$Ｒ^{1}$が場合により置換されたアルキル、場合により置換されたアリール、又は場合により置換されたヘテロアリールである、項目２１～２３の何れか１項に記載の化合物。
（項目２５）
明細書の表１に記載の化合物又はその塩又は溶媒和物。
（項目２６）
項目１～２４の何れか１項に記載の化合物又はその塩又は溶媒和物を含む個人向け製品。
（項目２７）
少なくとも１つの担体を更に含む組成物である項目２６記載の個人向け製品。
（項目２８）
組成物が摂取可能な組成物又は個人向けケア組成物である、項目２７記載の個人向け製品
（項目２９）
摂取可能な組成物が食品又は飲料品である、項目２８記載の個人向け製品。
（項目３０）
組成物が固体、半固体、プラスター、溶液、懸濁液、ローション、クリーム、フォーム、ジェル、ペースト、乳液、又はこれらの組み合わせの形態である、項目２７記載の個人向け製品。
（項目３１）
組成物中の項目１～２４の何れか１項に記載の化合物が約０．０００１ｐｐｍ～１００，０００ｐｐｍの範囲の濃度にある、項目２７記載の個人向け製品。
（項目３２）
組成物中の項目１～２４の何れか１項に記載の化合物が約１ｐｐｍ～５００ｐｐｍの範囲の濃度にある、項目３１記載の個人向け製品。
（項目３３）
布地製品又は梱包材料である、項目２６記載の個人向け製品。
（項目３４）
ケメステティック（ｃｈｅｍｅｓｔｈｅｔｉｃ）濃縮物が下記成分を含む項目２７記載の個人向け製品：
ｉ）香味調節剤としての項目１～２４の何れか１項に記載の化合物；
ｉｉ）担体；及び、
ｉｉｉ）場合により少なくとも１つのアジュバント。
（項目３５）
ヒト又は動物の消費又は使用のための、項目２６記載の個人向け製品。
（項目３６）
項目１～２５の何れか１項に記載の化合物又はその塩又は溶媒和物に受容体を接触させることを含む一過性受容体電位チャンネルメラスタチンメンバー８（ＴＲＰＭ８）を活性調節する方法。
（項目３７）
インビトロ又はインビボである、項目３６記載の方法。
（項目３８）
化合物がＴＲＰＭ８受容体アゴニストである、項目３６又は３７記載の方法。
（項目３９）
組成物を項目１～２５の何れか１項に記載の化合物又はその塩又は溶媒和物と組み合わ

せることにより修飾された組成物を形成することを含む組成物の涼感刺激をモジュレートする方法。
（項目４０）
ヒト又は動物を項目１～２５の何れか１項に記載の化合物又はその塩又は溶媒和物に接触させることを含むヒト又は動物において涼感刺激を誘導する方法。